

ライブラリィ とやま

「安心・安全な図書館」を目指して

富山県立図書館長 杉原 栄

AIの急速な発展、グローバル化の進展により、これからの時代は、主体的に、そして多様な他者と協働して、最適解を導くことが求められるとの指摘がある。それは、これまでにない予測不可能な時代に突入し、今までの常識や考え方にとらわれない斬新で自由な発想、多様な考え方を取り入れながら、課題解決に向かうべき時代ということの意味しているのだろう。

さて、今年に入り、世界の国々は新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされている。日本でも3月から4月にかけて感染者は急増した。

そして、4月16日(木)、全都道府県に緊急事態宣言が出され、人の動きを止め、人との接触を8割削減するため、不要不急の外出自粛をはじめとし、様々な規制・制限が我々一人ひとりに求められた。こうした中、本館は4月18日(土)から臨時休館となったが、本館職員にとっても、このような形での休館は初めてのことであった。

休館までの許された時間はわずかではあったが、こうした時にこそ図書館としてできること、求められていることは何かを検討し、できる限り図書館の役割を果たすことを考えた。その結果、感染症拡大防止を最優先とし、貸出の予約、返却期限の延長、電話・メール等によるレファレンス等のサービス提供に努めることとした。まさに、この状況における最適解を見出そうとした数日間であった。また、職員からは、休館中の図書館の様子をツイッターで紹介し、図書館についてより理解を深めてもらうのはいかがでしょうかという意見も出され、その情報発信にも努めた。

5月に入り、厚生労働省は新型コロナウイルス感染症専門家会議の提言を踏まえ、「新しい生活様式」を公表した。

当初、臨時休館は5月31日(日)までを想定していたが、5月14日(木)から富山を含む39県の宣言解除方針を受け、当館は5月12日(火)から1階閲覧室の利用、窓口での貸

出・返却のサービスを再開。さらに、5月25日(月)全都道府県での宣言解除を受け、5月29日(金)からは、「新しい生活様式」を取り入れた「3密の回避」、「マスクの着用・手洗いの徹底」等、可能な限りの安全対策を徹底したうえで、ほぼ通常開館へと移行していった。この間、県民の皆様には、限られたサービス提供しかできずご迷惑をおかけしたが、レファレンス等の対応の中で、「お疲れさま。ありがとうございます。」という、本当にうれしく、元気が出る声をかけていただいたと聞いている。

「ピンチはチャンス」とよく言われるが、今回のことは、これからの安心・安全を第一とする図書館のあり方に多くの示唆を与えてくれた。

県立図書館では、「調査研究のための図書館」「図書館のための図書館」「保存のための図書館」を運営方針とし、県民の皆様の「読みたい、知りたい、調べたい」というニーズに応えるため、アクションプランの見直しを毎年行い、ホームページで公表している。そこでは重点目標として

- 1 魅力向上と業務効率化
- 2 地域情報発信と情報化
- 3 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

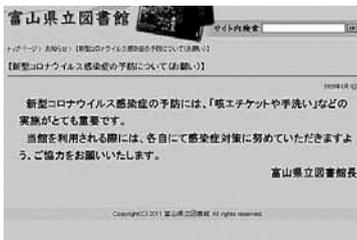
を掲げ、その実現に向け取り組んでいる。

7月に入り、新型コロナウイルス感染者は再び増加傾向にある。今回の経験をもとに、職員一丸となって、重点目標の達成と、より安心・安全な図書館サービスの提供に努めていきたいと考えている。



新型コロナウイルス感染症の影響をうけて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当館においても令和2（2020）年3月以降、感染症の予防対策やサービスの利用制限、臨時休館をおこないました。引き続き利用者みなさまには感染症の予防およびサービスの一部利用制限にご協力いただいているところではありますが、5月末までの主な出来事と当館の対応をまとめました。

主な出来事（ は富山県関係）		県立図書館の対応（◆は現在も継続中）		
1月	1/6	中国の湖北省武漢で原因不明の肺炎厚労省が注意喚起	 <p>富山県立図書館</p> <p>ホームページでの呼びかけ</p>	通常開館
	1/14	WHO 新型コロナウイルスを確認		
	1/16	日本国内で感染者を初確認		
	1/30	WHO 国際的な緊急事態を宣言		
2月	2/3	世界の感染者数1万人突破 乗客の感染確認されたクルーズ船が横浜港に入港	 <p>ロビーに設置した消毒液</p>	通常開館
	2/27	全国一斉休校を要請		
3月	3/7	世界の感染者数10万人突破	<p>◆ホームページや館内掲示で、感染症予防（マスクの着用、手洗い、消毒液の使用）を呼びかけました。</p> <p>◇3、4月開催予定の「はるのおはなし会」を中止しました。</p> <p>◆定期的に館内の換気をおこないました。</p>	通常開館
	3/30	富山県内で感染者を初確認		
4月	4/3	世界の感染者数100万人突破	<p>◇3/31より館内利用を閲覧室に限定（新聞雑誌閲覧室やコレクションルームの資料は閲覧室で提供）しました。</p>  <p>座席数を減らした閲覧室（仕切りは5月より設置）</p>	開館※利用制限あり
	4/7	7都府県に緊急事態宣言を発令		
	4/13	富山市民病院でクラスター発生と認定		
	4/15	世界の感染者数200万人突破		
	4/16	緊急事態宣言を全都道府県に拡大		
	4/18	日本国内の感染者数1万人突破		
4月	4/20	富山県内の感染者数100人突破 富山市内の老人保健施設でクラスター発生と認定	<p>◇県営の文化・体育施設の休館が決まり、県立図書館においても4/18から5/6まで臨時休館することとなりました。</p> <p>◇緊急事態宣言の延長をうけ、臨時休館を5/11まで延長しました。</p>  <p>閲覧室カウンターまわりの対策</p>	臨時休館
	4/28	世界の感染者数300万人突破		
	4/30	富山県内の感染者数200人突破		
	5/4	緊急事態宣言を延長		
5月	5/10	世界の感染者数400万人突破	<p>◇5/12から5/14は予約資料の貸出のみおこない、5/15より館内利用を閲覧室に限定して貸出・閲覧を再開しました。</p> <p>◆カウンターの職員はマスク、手袋、フェイスガードなど装着して対応しました。</p>  <p>上・返却専用の受付窓口 下・保管中の返却資料</p>	開館※利用制限あり
	5/11	富山県が休業要請の対象を縮小		
	5/13	富山県対策指針を策定し、外出自粛・休業要請を緩和する3段階の「ステージ」を設定		
	5/14	緊急事態宣言39県で解除		
	5/15	富山県「ステージ2」へ昼間の外出を認める		
	5/21	世界の感染者数500万人突破		
	5/25	緊急事態宣言全国で解除		
	5/29	富山県「ステージ1」へ外出自粛・休業要請を解除		
	5/31	世界の感染者数600万人突破		

ウィズコロナ時代におすすめの図書館利用法

館内での待ち時間を短くするために、来館する前にひと工夫してみませんか。パソコンや電話などで事前に調べておくと、スムーズにご利用いただけます。



蔵書検索

書名や著者名から、所蔵の有無を確認できます。

インターネット図書予約（事前登録が必要です）

図書の予約や確認、貸出期間の延長ができます。予約された図書が用意できましたら、登録いただいたメールアドレスへご連絡します。

調査相談（レファレンス）

トップページ最下段の「お問い合わせ」フォームからご利用ください。



電話でも蔵書検索、調査相談（レファレンス）、図書の予約や取り置き、貸出期間の延長を受け付けています（調査相談はFAXでも可能です）。

調査課 Tel 076 - 436 - 6812 Fax 076 - 436 - 1893 まで

お気軽に おたずねください レファレンス事例集

Q 過去に起こったインフルエンザ・パンデミックについて、100年前にスペインかぜが富山県内で流行したときの様子を知りたい。

A 大正7（1918）年から9（1920）年にかけて世界中で大流行したスペインかぜは、当時世界人口の3割近くが感染したともいわれるインフルエンザ・パンデミックです。スペインかぜという名で呼ばれたのは、第一次世界大戦でスペインが中立を保っており、情報統制が行われず大きく報道されたためです。日本でも大流行し、約2,380万人の患者と約38万人の死者が出ました。

『富山県史』によると、県内では大正7（1918）年10月から流行が始まり、10月20日から11月10日までの間だけで患者20万6千人、死者806名にも上りました。県は10月29日に「流行性感冒予防ノ件」という告諭を出し、消毒・含漱（うがい）など予防対策や夜間外出自粛を促しました。警察官が各家を回って、マスクの使用を勧めたり、人ごみの中に行かないよう注意したりもしたそうです。

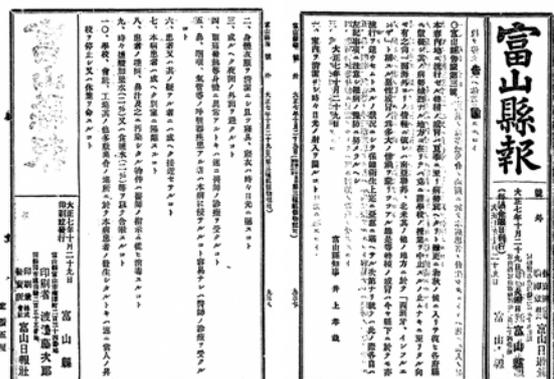
また、『富山県気象災異誌』には、10月初旬から富山市内の小中学校で感染が広がったため11月5日から5日間休校したとあります。感染拡大や休校に関する情報は当時の新聞でもたびたび取り上げられており、北日本新聞紙面閲覧システムでご覧いただけるほか、『スペイン風邪についての富山県の諸新聞記事』でもまとめられた記事を読むことができます。

なお、スペインかぜには大きく分けて3回の流行期間があり、県内においても3回の合計で患者39万7千人、死者5,453人が記録されてい

ます。現在、新型コロナウイルス感染症に第2波、第3波の可能性が懸念されているのも、こうして過去に起こったパンデミックの記録が残されているからなのでしょう。

参考文献

- (1)『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』（速水融／著 藤原書店 2006）
- (2)『流行性感冒「スペイン風邪」大流行の記録』（内務省衛生局／編 平凡社 2008）
- (3)『富山県史 通史編6 近代 下』『富山県史 史料編7 近代 下』（富山県／編 富山県 1984, 1982）
- (4)『富山県気象災異誌』（富山地方気象台／編 日本気象協会富山支部 1971）
- (5)『スペイン風邪についての富山県の諸新聞記事』（浦田正吉／著 浦田正吉 2020）



富山県報 大正7年10月29日 告諭

「外国語に親しむ図書セット」の貸出を始めました

今年度から小学校高学年で英語の授業が必修化されたことから、当館では児童生徒や県民の方々に幅広く英語に親しむ機会を持ってもらうため、「外国語に親しむ図書セット」をご用意しました。

英語版・日本語版両方が刊行されている絵本それぞれ10冊程度を1組とした「世界の名作絵本セット」6セットのほか、集中的に英語の本を読むことで、自然に英語力が身につくといわれる英語学習法「英文多読」用図書14冊をレベルごとに1組とした「多読本」5セットがあります。

県内の公立図書館に貸し出し、展示等に活用していただく予定です。



「外国語に親しむ図書セット」

企画展示・イベント

次の展示を行いました。

【企画展示】

- 5/15～6/7 世界の国々を知る本
- 6/9～7/5 生誕170年 ラフカディオ・ハーン
- 7/14～8/2 富山の相撲
- 7/21～8/30(予定) よんでたのしもう2020夏

※以上のほか、日替わり展示「今日の1冊」、季節の絵本の月替わり展示を行っています。

★これからも、いろいろなテーマで展示を行います。なお、イベントの開催予定につきましては現時点では未定ですが、今後、状況を見て実施を検討します。日程、内容が決まりましたら、館内掲示や、ホームページ・Twitterでお知らせします。



展示「富山の相撲」

新着読書会テキスト

- ・東野 圭吾 著 「クスノキの番人」(実業之日本社)
 - ・河崎 秋子 著 「土に贖う」(集英社) ～新田次郎文学賞受賞～
 - ・谷崎 由依 著 「遠の眠りの」(集英社)
 - ・村上 春樹 著 「猫を棄てる」(文藝春秋)
 - ・横山 秀夫 著 「ノースライト」(新潮社)
 - ・上野 誠 著 「万葉学者、墓をしまい母を送る」(講談社)
- 《県民カレッジ叢書》
- ・楠木 新 述 「人生は後半戦が勝負！」(富山県民生涯学習カレッジ)

1タイトルを10冊セットで貸出します。
グループでの読書会にご利用ください。

<お問い合わせ先>

富山県立図書館 普及課
Tel. 076-436-0229



- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
館内整理日 毎月第4木曜日(祝日の場合は翌日)、5月8日
蔵書点検期間(11月25日～12月4日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 開館時間 火～金曜日(ただし、休館日を除く)午前9時～午後7時
土日・祝日(ただし、休館日を除く)午前9時～午後5時
- 貸出 1人10冊まで、15日間
- 交通機関 富山駅前発バス(3番乗場)
・高岡、小杉方面行バス 呉羽山公園下車 徒歩5分
・北代循環、新港東口行バス 県立図書館前下車

*資料のお問い合わせは、調査課へ
富山県立図書館
TEL (076) 436-6812
URL <http://www.lib.pref.toyama.jp/>
携帯版ホームページ
<http://www.lib.pref.toyama.jp/i/>
Twitter
https://twitter.com/toyama_preflib

令和2年度 雑誌スポンサー募集中

詳しくは総務課まで、お問い合わせください。
ホームページでも案内しています。
TEL 076-436-0178